



謹賀新年

病院内中庭にて撮影

独立行政法人 国立病院機構 **和歌山病院**



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース 第32号

2012年1月発行

特集

台風12号による被災地で

地域医療従事者はこう動いた!

～災害時に求められる地域医療～

【当院の理念】

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」をめざします。

本院は国が担うべき政策医療の専門病院として、以下の疾患の診療に力を注いでいます。

【患者の権利と義務】

◇患者の権利

- 1.良質で公平な医療を受けられる権利があります。
- 2.人格や価値観を尊重される権利があります。
- 3.診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 4.治療法を選択できる権利があります。
- 5.病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
- 6.個人情報を守られる権利があります。
- 7.貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者の義務

- 1.ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にと伝えてください。
- 2.検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
- 3.他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
- 4.医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



目次

- | | |
|---|------------------------------------|
| 2 | 新年のご挨拶 病院長 楠山 良雄 |
| | 秋の健康フェア開催しました! |
| 3 | <特集>台風12号による被災地で 地域医療従事者はこう動いた! |
| 4 | 外来診療担当表 |
| | 春だ!今年も健康を目指そう!! |



新年のごあいさつ



院長 楠山 良雄

明けましておめでとうございます。
旧年中は和歌山病院の運営に多大のご協力とご指導いただき、心からお礼申し上げます。

昨年は自然災害の年でした。東北大震災では、幸い和歌山県は大きな津波に襲われることはありませんでしたが、当時はその可能性も考えて日勤職員を全員19時まで待機させ避難の手順を周知させたりしました。また、台風12号では、一部の職員や通院患者さんが被災されました。以前から災害時の対応マニュアルを作っていましたが、今回の経験を振り返ってみるとまったく不備だらけで、これから半年かけてマニュアル整備し、また御坊医療圏が被災した時には、地域の医療機関が互いに協力し合える体制を作っておく必要があると考えています。

昨年、当院はオーダリングを更新し、病棟の建て替え計画も進めてきました。本年から工事に着工することができるでしょう。新しい病棟

が完成すれば、次はサービズ棟（外来・管理部門など）の建て替えを計画しています。

平成22年度の国立病院機構患者様満足度調査では142病院中、外来部門は17位、入院部門は9位でした。この結果に慢心することなく、ハード面でもソフト面でも診療の質の向上にこれからも努めていきたいと考えています。また、地域医療支援病院として、他の医療機関とも色々な形で協力し、地域医療の発展に貢献していきたいと思ひます。

今後とも引き続きご協力とご指導の程、宜しくお願いいたします。



健康フェアを開催しました



地域住民の方を対象に、11月8日（火）に、オークワロマンシティにて『健康フェア』を開催しました。当日は、180名に参加頂きました。計測コーナーでは、身体測定・骨密度・肺機能検査・血管年齢測定を実施し、相談コーナーでは、禁煙・栄養・薬剤・介護福祉相談を行いました。今回の健康フェアで初めて実施した血管年齢測定はたいへん好評で、検査結果をみられ、「やっぱり年相応でした」「こんなはずは無いのですが」と様々な反応がありました。参加者アンケートでは、骨密度測定や肺機能検査が好評で、「今後の生活の参考にします」「また機会を作って下さい、

看護師（看護広報委員会メンバー）
西岡 瑞姫
奥 恵利佳



参加します」「続けて下さい」などのご意見を頂き、『健康フェア』に対して関心を持って頂けると実感でき嬉しく思いました。また自由記載欄には、次回開催時への希望内容も書かれており、今後少しでも希望に沿えるよう企画していきたいと考えています。

和歌山病院では、医師、看護師、コメディカルが協力して年2回の健康フェアを開催しています。今後も地域住民の方々の健康保持・増進につなげられるよう今回のアンケートを生かし取り組んでいきたいと思ひます。

台風12号による被災地で 地域医療従事者はこう動いた！ ～災害時に求められる地域医療～

～川上診療所 平林 直樹 先生～

- 診療科目 内科
- 所在地 〒644-1201 日高川町川原河264
- 電話：0738-56-0396

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前(9:00～12:00) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 午後(14:00～17:00) | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × |

Q. 9月初旬に大変大きな被害をもたらした、台風12号によって診療所も被害に遭われたとお聞きしましたが。

診療所は25cm浸水し、大半の医療機器が故障し、床が泥だらけになりました。掃除や絨毯・壁の張り替え等で診療再開までに2週間ほどかかりました。また、医療機器の修理が完了するまで、さらに2ヶ月ほどかかりました。幸い、薬剤やカルテに損害は少なく、休診の間は、投薬で対応し、1週間後からは血圧計と聴診器だけをもって、被災された方の家の巡回診療を行いました。

被災直後には在宅酸素療法をされている患者さんへの酸素の供給が心配になりましたが、業者がすぐに対応していただき、事なきを得ました。また急変時の対応を和歌山病院にお願いしたところ、快く引き受けて下さいました。



Q. 今後、災害時に地域の前線で活躍されている診療所と和歌山病院の間でどのような連携が必要だと考えますか。

今回の災害では、被災した診療所では救急患者への対応がほとんどできないことがわかりました。その際、和歌山病院等の地域医療支援病院に受け入れをお願いし、患者さんに迷惑がかからないようにすることが必要だと思います。また、普段からの患者さんの診療情報交換を密にし、連携を深めておくことも大事と考えます。そういった意味でも開放型病院として情報を共有させていただける和歌山病院はありがたい存在です。

～寒川診療所 宮本 和佳 先生～

- 診療科目 内科
- 所在地 〒644-1221 日高川町寒川293
- 電話：0738-58-0012

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-----------------|---|-------|---|---|-------|---|---|
| 午前(9:00～12:00) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × |
| 午後(14:00～17:00) | ○ | ×(※1) | × | ○ | ×(※2) | × | × |

(※1：猪谷出張診療所) (※2：上初湯出張診療所)



Q. 9月初旬に大変大きな被害をもたらした、台風12号によって診療所も被害に遭われたとお聞きしましたが。

幸いな事に寒川診療所周辺では大きな被害はなく、なんとか台風12号直撃後には和歌山市から診療所まで向かうことができました。ただ、断水や停電が3日続き、普段当たり前のように使用していた水道や電気がないことがこれほど不便なのかと痛感させられました。そんな厳しい環境の中でも、ベテランの看護師さんと工夫することで診療を行うことができました。

出張へ行っている猪谷や上初湯の診療所周辺は災害により民家が孤立しました。孤立した民家には、定期的に診ている患者様がおられ、処方していた薬もちよūdなくなるような状況でしたが、役場に相談しに行くとなんとなく自衛隊の協力を得られ、患者様に薬を届けていただけました。皆様に手助けいただき本当に感謝しています。

Q. 台風12号による災害後、患者様に何か変化はありましたか。

台風12号後、ストレスのためかヘルペスの患者様や不眠を訴える患者様が多く来院されました。今後は精神面へのケアも配慮しながら診療を行っていきたいと思います。

Q. 今後、災害時に地域の前線で活躍されている診療所と和歌山病院の間でどのような連携が必要だと考えますか。

やはり人出不足になるので、看護師の派遣等を行っていただけると大変ありがたいです。



| | | | | | | |
|----|----|----|-----|--------------|----|----|
| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 外科 | 2診 | 栗山 | 担当医 | 太田 (乳腺外来) | 畑田 | 有本 |

| | | | | | | |
|-------|------|----|-------|-----|----|-------|
| 循環器内科 | 3診 | 楠山 | 石井 | 担当医 | 楠山 | 水越 |
| | 5診 | 豊田 | 尾鼻 | — | 尾鼻 | 豊田 |
| | 4・6診 | 石井 | 大原(せ) | — | — | 大原(茂) |

| | | | | | | |
|------|----|---|---|------------------------|---|----|
| 神経内科 | 6診 | — | — | 河本(第2・4週) 三輪(第1・3週) | — | 河本 |
|------|----|---|---|------------------------|---|----|

| | | | | | | | |
|---------|----------|-----|----|----|---------------------------------|---------------------------------|----------------|
| 呼吸器センター | 初診 | 14診 | 柳本 | 川端 | 市川 | 小野 | 平松 |
| | 再診 | 16診 | 駿田 | 小野 | 柳本 | 赤松 | 畠(※) |
| | 専門外来(午後) | | — | — | 睡眠外来 駿田(再診) COPD外来 担当医 | 禁煙外来 乾(第1・3週) 赤松(第2・4・5週) | 睡眠外来 駿田(初診) |

※受付時間 8:30~11:30 診療時間 8:30~17:00

※金曜日の畠Dr.の外来は
第2・4週のみとなっております

※再診については原則、予約制にしております(急患についてはこの限りではありません)



春だ！今年も健康を目指せ！！



栄養管理室

年末から忘年会やクリスマス、お正月も過ぎ、飲み過ぎた！食べ過ぎた！と思っておられる方はいませんか？
年明けは、今年一年元気に過ごす目的も含めて、体をリセットしておくことを心掛けたいものです。食事では、栄養バランスの取れた適切な量を摂取することから始めましょう。
まず、成人男女の1食分の目安量を覚えておきましょう。

調理方法は特にこだわらないのですが、飲み過ぎ食べ過ぎで少し胃腸が弱ってるかなと思う方は、野菜に火を通して食べることをおすすめします。汁物にたっぷりの野菜を入れるのもいいでしょう。鍋料理なんかもおすすめです！

| | | |
|-----|-------------|---------------------------------------|
| 主食 | パン | 1食90g(女性なら食パン1枚半~120g) (男性なら食パン2枚) |
| | ご飯類 | 1食200g(女性なら女茶碗1杯半) (男性なら男茶碗1杯) |
| おかず | 肉、魚、大豆、大豆製品 | 自分の握りこぶし1つ分ぐらい |
| | 野菜 | 広げた両手1杯分が目安。 |

<※成人男女の1食分の目安量>

<実行しておきたいポイント！>

- ①油にも体に必要な栄養が含まれています。食べ過ぎない程度に1日1品は油を使った料理を食べましょう。
- ②食後すぐに眠らないようにしましょう。ソファーにもたれていても結構ですので、約2時間は体を起しておきましょう。軽い胸焼けを時々感じる方も試してみてください。いつも感じている方は医師に相談が必要です。
- ③食後は消化不良のため消火器に血液が集まります・消化吸収を妨げないため食後1時間は運動を避けるようにしましょう。
- ④人体には1日3ℓ近い水分が必要です。1日3食の食事以外に1.5~2ℓの水分を摂るようにしましょう(アルコールは水分にプラスしない！)

独立行政法人国立病院機構和歌山病院

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

院長/楠山 良雄 診療部長(内科系)/豊田 康誠
副院長/駿田 直俊 診療部長(外科系)/有本 潤司
呼吸器センター長/柳本 立太

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256(代表)

※夜間・休日は0738-23-1506

FAX 0738-22-2008(地域医療連携室)

<http://www.wakayama-hosp.jp/>